区分・種別	県指定有形文化財（石造物）		
名　　称	せきぞうごじゅうのとう 石造五重塔　　１基		
所　在　地	伊予市大平曽根		
所　有　者	個人蔵	管 理　団 体	
指定年月日	昭和30年11月4日		
解　　説	この五重石塔は、総高330cmの凝灰岩製である。全体の均衡からみて、建立当初は七重石塔であったのではないかといわれている。 軸部４面には、雄渾な筆文字で金剛界胎蔵界両部の大日如来の種子梵字があり、弥陀三尊・釈迦三尊はじめ12の梵字が刻まれている。さらに軸部背面には、造立年紀銘などの石文が次のように刻まれている。 ……真為…… 建治三年丁丑八…… （注　建治３年は1277年） 石文のほとんどは読みとることはできないが、地方色豊かな鎌倉時代の貴重な遺品である。		